

降下訓練始め 自衛隊+12カ国の軍隊が参加する多国籍訓練

◆1月12日、千葉県船橋市の陸上自衛隊習志野演習場で、日本を含む13カ国の多国籍軍が参加する「降下訓練始め」が実施される。作戦は南西諸島の離島奪還を想定、戦争を見せつけるパラシュート降下訓練！降下実施日前日の11日は、津田沼駅北口でリレートークで抗議宣伝をした。続いて陸上自衛隊習志野演習場へ移動、正門で訓練中止の要請書を読み上げて、自衛隊係官に手渡した。



- ・空自機は、入間基地～習志野演習場～入間基地の経路で飛行。
 - ・海自機は、下総航空基地～習志野演習場～下総航空基地の経路で飛行。
 - ・米空軍機は、米軍横田基地～習志野演習場～米軍横田基地の経路で飛行。
- また、陸自のヘリコプターは木更津駐屯地及び立川駐屯地から習志野演習場に飛来又は飛行し、所属駐屯地に戻る。



戦争を見せつけないで 多国籍軍のパラシュート訓練

◆「降下訓練始め」は毎年、1月上旬の日曜日に開催している。当初は年初めの安全祈願の要素が強かったが、近年は変質した。まさしく「戦争を見せつける」イベントショーだ。パラシュート降下訓練は自衛隊と12カ国の軍隊による合同訓練！強く中止を申し入れた。

■参加部隊(自衛隊・多国籍軍)

【陸上自衛隊】

・第1空挺団 ・第1ヘリコプター団等

【航空自衛隊・在日米空軍】

・航空自衛隊 入間基地・在日米空軍 横田基地

【参加他国籍部隊】

- アメリカ軍●イギリス軍●オーストラリア軍●カナダ軍●フランス軍●ドイツ軍
- オランダ軍●イタリア軍●ポーランド軍●フィリピン軍●シンガポール軍●タイ軍



習志野駐屯地の正門内で「降下訓練始め」中止要請書を読み上げ手渡す!

14時から始まったJR津田沼北口のリレートーク宣伝行動は50名ほどが「降下始め」中止を求める市民が集まった。15時になると陸上自衛隊習志野駐屯地に、新京成成線を利用して移動した。駐屯地は開門され、入場が認められた。ここでも中止要請提出に30名が集まった。川口絵未さん（市民ネットワーク千葉県共同代表）が「中止を求める要請書」を読み上げ、駐屯地の広報担当自衛官に手渡した。



12カ国軍参加の「降下訓練始め」の中止を求めます。

内閣総理大臣 石破茂殿

防衛大臣 中谷元殿

外務大臣 岩屋毅殿

陸上自衛隊習志野駐屯地司令兼第一空挺団長 若松純也殿

明日1月12日、陸上自衛隊第一空挺団の「降下訓練始め」が行われる予定とされています。これまでの目的とされてきた「空挺部隊の1年の降下安全を祈願する」に、今年は「同盟国・同志国等参加国の空挺部隊と連携強化を図る」が加わり、12カ国軍、410名が参加する大規模な多国籍軍による軍事演習となるということです。

市民ネットワーク千葉県は、「地域から憲法を活かし、平和を創る」活動を続けてきた地域政党として、2017年に米軍が参加するようになって以来、降下訓練始めは「日米軍事一体化」を既成事実として市民生活の場に露出するものとして、開催に抗議し中止を申し入れてきました。

それが、一昨年より英・豪軍も参加、去年は8カ国軍と参加国軍を強引に増やし、「国際空挺司令官会議」も開催されています。自衛隊を多様な国との軍事同盟を通じて否応なく「軍隊」へと変えていく、その現場に私たちの生活圏が使われることに憤りを覚えます。

自衛隊が他国軍との共同演習を繰り返していることは周知の事実です。しかし、周囲に100万人が暮らす市民生活の場で、一般市民の目の前で行われるのは、習志野演習場だけです。しかも同演習場は国内の降下演習場で最も狭く、隊員の場外への誤降下を繰り返している現場です。昨年11月にも2名の隊員が場外に降下したばかりであるのに、不慣れな他国軍の兵士が大量に降下を行うなど言語道断であり、不測の事態を危惧せざるを得ません。

私たちは、過剰にエスカレートする降下訓練始めへの他国軍の参加は、平和憲法と専守防衛の基本に明らかに抵触し、根本的に誤った安全保障政策と外交政策であると考えます。そして、市民生活を危険にさらしつつ、文字通りあからさまに「戦争」を見せつけることを認めることはできません。

明日の多国籍軍参加による降下訓練始めの中止を、ここに強く求めます。

2025年1月11日

市民ネットワーク千葉県共同代表 川口絵未
小室美枝子